

令和3年 第2回全員協議会会議録

令和3年3月10日 議員控室

○事 件

町長報告事項

- (1) 「一般会計財政試算：令和3年3月版」について（財務課）
- (2) 八雲総合病院収支見通しについて（総合病院）
- (3) 第2期八雲町総合計画実施計画について（政策推進課）

○出席議員（13名）

議長	能登谷 正 人 君	副議長	黒 島 竹 満 君
	関 口 正 博 君		佐 藤 智 子 君
	横 田 喜世志 君		大久保 建 一 君
	斎 藤 實 君		赤 井 睦 美 君
	三 澤 公 雄 君		牧 野 仁 君
	安 藤 辰 行 君		宮 本 雅 晴 君
	千 葉 隆 君		

○欠席議員（1名）

田 中 裕 君

○出席説明員（16名）

町長	岩 村 克 詔 君	副町長	吉 田 邦 夫 君
副町長	萬 谷 俊 美 君	総務課長	三 澤 聡 君
財務課長	川 崎 芳 則 君	財務課長補佐	横 田 盛 二 君
財政係長	南 川 達 哉 君	総合病院事務長	成 田 耕 治 君
庶務課長	竹 内 伸 大 君	医事課長	石 黒 陽 子 君
地域医療連携課長	長谷川 信 義 君	地域医療連携課参事	加 藤 孝 子 君
政策推進課長	竹 内 友 身 君	政策推進課長補佐	上 野 誠 君
企画係長	多 田 玲央奈 君	政策調整係長	右 門 真 治 君

○出席事務局職員

事務局長	井 口 貴 光 君	事務局次長	成 田 真 介 君
庶務係長	松 田 力 君		

◎開会・議長挨拶

○議長（能登谷正人君） それでは、全員揃いましたので、ただ今から、第2回の全員協議会を開催させていただきます。議長の挨拶は割愛させていただきます。

◎ 町長報告事項

○議長（能登谷正人君） 早速、町長報告事項に入らせてもらいます。

課題はですね、一般会計の財政の試算、令和3年3月版について、財務課のほうからお願いいたします。

○財務課長（川崎芳則君） 議長、財務課長。

○議長（能登谷正人君） 財務課長。

○財務課長（川崎芳則君） 財務課から説明させていただきます。

一般会計の財政試算について、取りまとめいたしましたので、担当補佐のほうから説明をさせていただきます。

○財務課長補佐（横田盛二君） 議長、財務課長補佐。

○議長（能登谷正人君） 補佐。

○財務課長補佐（横田盛二君） 一般会計財政試算についてご説明いたします。はじめに1ページ目の一般会計財政試算の考え方をご覧願います。

1、財政資産の総括的な特徴といたしまして、（1）令和3年度歳入の約31%を占める普通交付税についてですが、今後の地方財政計画を踏まえるとともに、令和2年度までの合併算定替終了や、国勢調査による人口の減少の影響などにより減少基調で試算せざるを得ない状況であります。

（2）各年度の捉え方ですが、令和2年度は決算見込み、令和3年度は当初予算決算見込み、令和2年度からの繰越明許費、補正予定事業分、令和4年度以降は、継続事業や第2期総合計画実施計画における想定事業から試算しております。

（3）ふるさと応援寄附金奨励事業ですが、令和3年度予算については定例会において審議していただくこととなっておりますが、事業費は6億7,520万6千円で、ふるさと応援寄附金積立金12億円と合わせて、18億7,520万6千円であります。ふるさと応援寄附金を有効かつ効率的に配分して事業を進めるためにも、令和4年度以降においてもふるさと応援寄附金奨励事業経費を含めたかたちで試算をしたものであります。企業版ふるさと応援寄附金は情勢を捉えづらく、令和4年度以降への試算は反映しておりません。

（4）総合病院繰出金ですが、令和3年度当初予算計上により、国の新たな財政措置により基準内計上が増額となっておりますが、資金不足解消対策として、特別繰出金で、令和4年度から令和6年度は2億円、令和7年度は2億5,000万円として総合病院の収支見通しと整合性をとった試算としております。

次に2、歳入でございます。丸付数字は、資料の2ページA3横版の財政試算表の左側の枠外の数字と連動しておりますので、2ページの表と一緒にご覧願いたいと思います。

①町税について、令和2年度決算見込みは19億2,800万円と見込んだところであります。令和3年度については、過去の実績及び地域経済の動向を勘案し20億1,000万円と見込んだところであります。令和4年度以降、住民税は令和3年度予算計上以上の減額はないとし、増額見込みであります。また、固定資産税の評価替えを令和6年度に実施することなどから、これらを加味し減少基調で記載してございます。

続きまして②の地方交付税については、令和2年度算定の減少気象で、0.5%減を基本に試算しております。

はじめに普通交付税であります。令和3年度以降については、令和2年度算定結果を基に、交際費、個別算定経費を積算しており、山崎小学校閉校に伴う段階的減額等を考慮し試算をしております。合併算定替えについては、令和2年度持って終了しており、令和2年国調人口につきましては、令和3年度の普通交付税算定により反映されることとなり、1億7,600万円程度の減額を見込んだところでございます。

次に特別交付税であります。特別交付税については、交付基礎相当額のみを試算しております。令和4年度以降については、前年度対比0.5%減の試算でございます。

次に③の繰入金でございます。令和2年度分は、決算時に繰入れ目的ごとに決算額に応じて調整のうえ決定しますが、本試算においては、令和2年度補正後予算額28億1,900万円としており、うち財政調整基金から、4億354万4千円の繰入れを見込んでおります。また、令和3年度については、20億1,400万円のうち、財政調整基金2億5,000万円を繰入れるかたちで試算しております。令和4年度以降は、ふるさと応援寄附金繰入金を12億円としての試算でございます。

次に、④・⑤の町債については、普通建設事業に対応したほか、普通交付税の振替財源である臨時財政対策債を令和4年度以降は、令和3年度増額の4億3,100万円の試算であります。

以上のことから、⑥各年の歳入の合計につきましては、表へ記載のとおり、試算したところであります。

次に、3歳出であります。丸付数字はありませんが扶助費については年々増加傾向にあることから微増での試算としてあります。このうち、自立支援関係についてのみ前年度対比1%増の試算でございます。

⑧の普通建設事業は、第2期総合計画実施計画継続事業等により、試算をしているところであります。令和3年度の当初予算には計上しておりませんが、この試算に補正対応で加えた事業として、耐震貯水槽整備事業、約2,800万円を令和3年度に見込んだところであります。令和4年度以降につきましては、総合計画実施計画継続事業等に基づき試算したものであります。

⑨の公債費については、町債の発行額に合わせて、令和3年度以降の借入予定分を含めて償還額を算定してございます。また借入れに当たっては有利な起債である過疎債、辺地債の選択を第一に考えて追及していくものであります。

次に⑩の繰出金について、令和4年度以降は、国保、後期会計では、平年ベースの前年度対比0.5%増、介護保険会計では前年度対比1%増で試算し、簡易水道、下水道、農業集落排水会計については、各会計年度の収支計画などから試算したものでございます。

また、企業会計への繰出金は、財政試算表の性質別歳出では、補助費等とその他に区分されます。特に総合病院については⑯に抜粋してございます。資金不足解消対策として特別繰出金、令和4年度から令和6年度は2億円、令和7年度は2億5,000万円として総合病院の収支見通しと整合性をとった試算としております。

次に⑱の収支欄ですけれども、繰入金でもご説明しましたが、令和2年度は決算のときに改めて精査して決定しますが、現段階の試算としては、財政調整基金から令和2年度補正後予算額4億354万4千円の繰入れを行った上で、歳入・歳出差引き6億7,000万円であります。令和3年度は決算見込みとして、財政調整基金から2億5,000万円の繰入れで、収支ゼロでの試算でございます。また、令和4年度以降につきましては、歳入歳出差引きマイナス試算であることから各年度基金からの繰入により対応しなければ財政運営が行えない状況を表しているものでございます。これに伴いまして⑲取崩型基金残高は、令和2年度末86億6,100万円の見込みであります。予算ベース上の計上となっており、決算時に合わせて繰入額を圧縮し、実際の決算では令和元年度同額程度の残高を維持できるものと考えております。試算においては、令和7年度末では、24億4,300万円の基金残高であります。基金については積立取崩しを通じてですね、その増減が繰り返されるという性質を持っております。財政の効率化の努力によって、剰余金を生み出して、これを基金に積み立て財政の平準化に向けた対応を図っていくことが必要だと考えております。

最後に、下段の経常収支比率、実質公債費比率の推計であります。基本的にこれらの数字は普通交付税と地方債の借入額及び償還額の増減によって大きく左右されるという仕組みになってございます。経常収支比率については、歳入経常一般財源の減に対して、経常的な支出が増加傾向にあることから、硬直した財政運営が強られる状況で、今後は90%を超える試算となっております。この数字の改善のためには、経常的な財源を確保して、町税等の収入をいかに確保して守っていくのか、経常経費の圧縮・抑制などが非常に重要になってくると考えております。

また、実質公債費比率については、過疎債や辺地債という交付税措置のある有利な起債を選択することによって、実質的にこの数字は大きく上昇しないだろうということで試算しているところでございます。一般会計の財政試算は、特に国の動向により大きく左右されることから想定される内容を考慮し、歳入は堅く試算しており、これ以上の悪化はないと考えておりますが、病院事業の経営状況等によっては、大きく変更となることをご理解願いたいと思います。

以上で一般会計財政試算についての説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

○議長（能登谷正人君） 一般会計の財政試算について説明をもらいましたけれども、なにかご質問があれば。

○14番（千葉 隆君） 議長、千葉。

○議長（能登谷正人君） 千葉君。

○14番（千葉 隆君） 令和2年度の部分については、決算見込みということで確定した数字ではないんでしょうけれども、歳出において、前年度19億9,200万が令和2年度で23億7,800万と増額になってるんですけども、この要因は何なんですか。人件費の。

- 財務課長補佐（横田盛二君） 議長、財務課長補佐。
- 議長（能登谷正人君） 補佐。
- 財務課長補佐（横田盛二君） 令和2年度につきましては、令和元年度から令和2年度への繰越明許費の決算見込額がですね、普通建設事業におきまして、5億6,000万円程度が繰越明許、失礼しました。ちょっとお待ちください。
- 議長（能登谷正人君） いいよ、ゆっくりで。
- 副町長（萬谷俊美君） 議長、副町長。
- 議長（能登谷正人君） 萬谷副町長。
- 副町長（萬谷俊美君） この人件費につきましては、令和2年度から今までの臨時職員が賃金という制度から、会計年度職員になったことによって人件費のほうに計上するという事で、変更になったことに伴いまして、臨時職員の分が物件費から人件費に移ったという事で、令和2年度の人件費の額が上がっているという状況でございます。
- 議長（能登谷正人君） ほかにありませんか。ないようですので、この件は以上で終了いたします。
- 議長（能登谷正人君） 次に、八雲総合病院の収支見通しについて説明をお願いいたします。
- 総合病院庶務課長（竹内伸大君） 議長、総合病院庶務課長。
- 議長（能登谷正人君） 庶務課長。
- 総合病院庶務課長（竹内伸大君） それでは、総合病院収支見通しについて説明いたします。お手元の資料をご覧ください、まずは令和2年度決算見込みについて説明いたします。本見込みの試算にあたりましては本日先ほど議決いただきました補正予算をあらかじめ反映していますことを申し添えます。資料の1ページとなります。
- 収益の部に関して特徴的な事項といたしましては、入院・外来ともに患者数の減少が顕著となっております。新型コロナウイルス感染症の影響に加え、脳神経外科常勤医師の退職による患者の減少が主な要因でございます。一方で新型コロナウイルス感染症治療の指定医療機関となることで、感染防止資材をはじめ、病床確保体制確保に係る補助金収入を得られたこと。及び特別交付税の裏打ちのある繰入金金の増加により、医業外での収益でこれら減少分を補う結果となっております。費用の部に関しましては、前年度と比較して多少の増減はあるものの、ほぼ横ばいで経過するものと見込んでおります。
- Aの欄収益総計から、Bの欄費用総計を差引いたCの欄、差引収支は2億2,590万6,000円の純損失が見込まれます。表の下段、下から2行目Gの欄、内部留保資金は3.3億円を見込んでおります。
- 続きまして、総合病院収支見通しであります。資料2ページをご覧ください。
- 本資料では、収支見通しの調整にあたっての考え方をお示ししてございます。要点といたしましては、内科及び脳神経外科の常勤医師確保や、新入院料の算定による増収を柱としております。費用のうち企業債償還金のピークは令和6年度であり、ピーク時の額は5.7億円でございます。その他詳細につきましてはお読み取りいただきたいと存じます。

資料3ページをお開き願います。令和7年度までの収支見通しとなります。各年度において資金不足額が生じないよう収支不足額につきましては、繰入金を計上し試算しております。繰入金につきましては、後ほどご説明申し上げます。

特徴的な事項に絞って説明いたします。表の左に記載の丸付数字、⑭特別利益に記載の他会計繰入金につきましては、令和2年度までは基準外の繰入金として計上してまいりましたが、令和3年度以降計上しない見通しとなっております。⑯純損失は、令和3年度以降、3億円から4億円弱で推移する見通しであります。

続いて資本的収支、収入のうち3の欄、他会計補助金であります。令和元年度以降、資本的収支の不足額を補てんするため基準外繰入である他会計補助金を計上しております。令和3年度は令和2年度の決算見込み内容等も踏まえ、例外的に計上をゼロとしておりますが、令和4年度以降、2億円から2.5億円を計上しております。

⑳一般会計繰入金の見通しであります。令和元年度以降、12億円から13億円台を毎年度計上する見通しとなっております。繰入金の性質のうち、㉑基準内相当分は地方交付税により措置される分として、実施的に財源の裏付けがあるといえ、本日議決いただきました基準内の繰入に係る今後の見通しも踏まえ、令和4年度以降の基準外相当分を2億円から2.5億円台に圧縮してございます。内科常勤医師の増及び耳鼻科常勤医師の固定化に加え、経営アドバイザーの導入による診療単価のアップなど明るい兆しも見えてきておりますが、依然として楽観できる見通しではございません。引き続き、医師確保対策及び経営アドバイザーで得られたノウハウを着実に経営改善に結び付けられるよう努力してまいります。

以上、雑ぱくではありますが、総合病院の収支見通しの説明とさせていただきます。よろしく願います。

○議長（能登谷正人君） 収支見通しについて説明がありました。質問中で申し訳ないんですけども、何かありましたら。

○5番（斎藤 實君） 一点だけ。

○議長（能登谷正人君） 斎藤議員。

○5番（斎藤 實君） 人件費比率ですけれども、令和3年度は80.2%、以降で4・5・6ということで若干上がっていく、この考え方というのはどういうものなんですか。

○総合病院庶務課長（竹内伸大君） 議長、総合病院庶務課長。

○議長（能登谷正人君） 庶務課長。

○総合病院庶務課長（竹内伸大君） 人件費比率につきましては、収益に対する人件費の比率を表すものでございまして、それぞれ試算し、支出を試算した結果の数値となっておりますので、この点については意図的にこういう数値を導き出したというものではございませんので、試算の結果ということでご理解いただければと思います。よろしく願います。

○議長（能登谷正人君） 次に、どなたかおりませんか。ないようですので、総合病院収支見通しはこれで終了させていただきます。

○議長（能登谷正人君） 次に、第2期の八雲町総合計画実施計画について、事前配付しておりましたので、皆さん目を通していただいております。これから説明をしていただきますが、昨年11月に産業振興プロジェクトについて、町長と意見交換をした経緯もありますので、

この時に町長のお話を聞いたら大型事業だという記憶があります。この際、これらの事業と実施計画への詳細の関係についてお聞きいたしますので、併せて説明をお願いいたします。

○町長（岩村克昭君） 議長、町長。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克昭君） 今ですね、議長さんのほうから説明がありました。この総合計画と私が説明した産業活性化のプロジェクトの関係でありますけども、基本的にはこの総合計画には入っておりません。というのはですね、どちらかというと企業誘致に近いかたちで進んでいます。特に今皆さんご存じのとおり、ウイスキーを小学館と計画を進めていますけども、皆さんご存じのとおり、このコロナということで全然話し合いが進んでいないと。

本来であれば12月に取締役会で決定したのちにすぐに来ていろんな打ち合わせをする予定でありましたけども無理、2月に来るのも無理、今のところ3月も無理なので、これから4月なのか5月なのか6月なのか、またこのオリンピック等々の問題もありますので、まったく予定がついていないというのが現実で、それともう一つは、このウイスキーの事業については、小学館にウイスキーの専門家のアドバイザーがいます。この方もですね、大変特にこの八雲町内のあまり大きくは言えませんが臭いの問題、特に牛の臭いの問題等々がありますので、その方をですね、是非あちこち見ながら場所等々も検討したいということでもありますので、まだまだこの計画に載せれる段階ではないということでもあります。

そして基本的にですね、これからの産業活性化のプロジェクトの費用については、基本的な考え方は先ほど長期計画で財政計画の説明をいたしましたけども、ふるさと納税が12億円で計上しています。それと企業版ふるさと納税は計上していないということでもあります。ただ、これもふるさと納税がいつまで続くかは我々も不透明でありますので、このプロジェクトの費用については、ふるさと納税と企業版、先ほど言ったふるさと納税も今予定で見ている12億円でなくてそれ以外のもの、今小学館さんとまた違う大手の方も今ついてくれるような話がありまして、その中の話とすれば、かかる費用については、小学館、集英社グループの中のふるさと納税や企業版を紹介していただくと。

さらに今小学館から紹介されたある企業、これはまだ発表できませんけども、この企業のほうは大変大きな企業になりまして、聞くとところによると職員数が約3万人いて、関連をいくと10万人程度いるような話もありますので、小学館がなかなかふるさと納税集めにくいということで、なにかその企業さんも一緒に参加しながらふるさと納税に協力するという話もありますので、これからのプロジェクトについては、ウイスキー並びに多種ありますので、そういうかたちでお金を使っていきたいと。

しかしながら、議会の皆さんに初めて意見交換をやりましたので、これからも変化したり、定期的にまた議会の方々と意見交換できればと思いますので、このウイスキーについては、4月5月に来られたらすぐですね、また議会の皆さんに報告させていただきながら進めてみたいということでもありますので、総合計画には反映していないということをですね、考えていただきたいと思います。以上です。

○議長（能登谷正人君） 町長の説明がありました。なにかご質問ありましたら。

○14番（千葉 隆君） 議長、千葉。

○議長（能登谷正人君） 千葉君。

○14 番（千葉 隆君） 事業計画、今練れないということなので、その以前に今調査している段階、調査というか研究だとか事前協議みたいな感じだから、やっぱり調査費のお金を載せる載せないかは別にして、たとえばスマートインターチェンジの部分だって結局は難しい状況にあるけども、総合計画にはまだ載ってるはずなんですよ。

だからやっぱりある程度、最終的に事業計画に載れるかどうかは別にしてでも進めようという段階の、色濃いものは総合計画に載せて、あるいはまだ調査研究というか、そこまで行っていない部分については違うよと。そういうやり方でやるのが総合計画との関連でいいのではないかなと思うんですね。

それで当然財政計画の関係も、ふるさと納税だからどう変わるか分からないし、それも多いか少ないかも分からないから、もしかしたら今の財源の中から出るかも分からないしね。だからそういうのも逆に載せてることによって自由が利くんじゃないかと思うんですね。

だからある程度まだまだ、例えば奥尻のどうのこうのって言ったら港湾の関係もあるし、全然整備もされてないから、まだ載せるまででない。というのは一定程度事業計画作れそうかなという部分では調査費みたいなかたち、いくらつけるのか別にしてでも事業計画のメニューだけには入れてやらないと、なんか突然ボンって出てきたような感じがするので、そのための総合計画でないのかなと思うんだけど、その辺の取扱いはどう考えているのかなと。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 千葉議員ですね、大変応援するような意見をいただいたと思っています。本当に総合計画に入れられるものについては、これから入れていきたいという考え方をしています。ただ、大変難しいのが相手企業とかがついている場合に発表だとかが先に行くと、本当に微妙な関係というのは大変ありますので、このウイスキーなんかでも最初にウイスキーを醸造するということがあまり出てくるとあまりよろしくないとか、いろんなウイスキーばかりじゃなくて、今言った奥尻の関係もありますけども、港湾だとかいろんな関係で、千葉議員さんよくご存じだと思いますけども、その辺についても発表していいものと悪いものがありますので、ただしこの計画に載せられるものについてはですね、これからはですね、今回はちょっと無理でありますけども、これから載せていきたい。ただしグレーのものはグレーのかたちで載せながら議員の皆さんと議論を深めてですね、八雲町の活性化になればと思いますので、よろしくお願いたします。

○14 番（千葉 隆君） 議長、千葉。

○議長（能登谷正人君） 千葉君。

○14 番（千葉 隆君） 町長全く同じでさ、ウイスキー企業誘致事業ってボンって載せるんでなくてさ、そういうぼかしながらというか、そういうやり方でもできると思うんだわ。ただ、やっぱりあまりいろんなメニューというか産業の部分でいろんなことを考えているから、いっぱいあるからやっぱり総合計画にしっかり載せてやって欲しいなという要望です。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 千葉議員さんから大変良い意見をいただきましたので、今回はちょっと無理でありますけども、これからは総合計画にオブラートのかかったもので発表できる部分を載せながら進めたいということでもありますので、よろしくご理解いただきたいと思います。

○議長（能登谷正人君） 是非、町長も頑張る。コロナが邪魔して、大変悪いコロナで。ほかにありませんか。

○2番（関口正博君） 議長、関口。

○議長（能登谷正人君） 関口君。

○2番（関口正博君） 事業の計画もそうなんですけども、これからのふるさと応援寄附金の扱い、12億円を維持していく、制度そのものがどうなるかという部分もあるでしょうが、制度が続いたとして12億円を維持するということは、非常に大変なことであろうと思っておりますけども、町長自体はそこに対する自信というか何か予定というか、そういうものはあるのでしょうか。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） これについては、大変、関口議員さんがおっしゃっているとおり、大変難しいということはですね、私も認識をしています。本当にこの今我々が今年もですね、20億程度行くというのも、水産会社の協力を全面的にいただいてやっているというような状態であります。本当にこの八雲の業者の方々まだまだ協力がなかなか難しいということで、それと浜の状態、または世の中の状態もありますので、ただ、楽観はしていません。

ただ、これからコロナが落ち着いてくると少しはまた企業版ふるさと納税等の営業ができるんじゃないかなと考えていますので、ふるさと納税、企業版ふるさと納税が続く限り努力していきたいということで、大変私も心配していますので、また関口議員さん、特に水産関係が強いんですので、また意見等々いただければと、お願いいたします。

○議長（能登谷正人君） ほかにありませんか。ないようですので、以上でこの件は終了いたしますが、プロジェクトの件は具体的にできましたら事業の内容やスケジュール等々、進捗状況なども、なるべく早めに議会のほうにも報告をお願いをいたします。それぞれが大変八雲町において大きな大型事業ですから、計画的に進められると思いますので、我々もしっかり議論を重ねていきたいと考えておりますので、町長のバイタリティーある行動でよろしくお願いいたします。

それでは、ほかにありませんか。なかったらこれで終わらせていただきますけども。あっ肝心の大きなやつ。それでは、資料。

○政策推進課長（竹内友身君） 今回まとめさせていただいた、令和3年度から5年度までの3年間ということで、配布させていただいておりますので、概略について簡潔に係長から説明いたします。

○政策推進課企画係長（多田玲央奈君） 議長、企画係長。

○議長（能登谷正人君） 企画係長。

○政策推進課企画係長（多田玲央奈君） それでは、第２期八雲町総合計画実施計画の、令和３年度から令和５年度の概要につきまして、簡単に説明させていただきます。

平成 29 年度に策定しました、第２期八雲町総合計画では、平成 30 年度から令和 9 年度までの 10 年間を計画期間としていますが、この度策定した実施計画は、令和 3 年度から令和 5 年度までの 3 年間の計画となっております。

A 3 版の実施計画書をご覧いただきたいと思います。1 ページから 5 ページまでにつきましては、平成 30 年度から令和 5 年度までの合計事業費と、令和 3 年度から令和 5 年度までの年度ごとの事業費を、章別、分野別、主要施策別に掲載をした総括表となっております。

5 ページをお開きください。上段の表の全体計画欄に記載の合計額が、平成 30 年度から令和 5 年度までの 6 か年の合計で、348 億 5,095 万 4 千円となっております。また、5 ページ中段の左側に計画枠の年度別の推移を示す折れ線グラフの掲載をしております。

計画枠の推移の特長といたしましては、平成 30 年度は 56 億 2,100 万円となっており、ふるさと応援寄附金奨励事業、総合病院医療機器整備事業、汚水処理施設共同整備事業などが主な事業となっております。令和元年度は、60 億 6,300 万円となっており、ふるさと応援寄附金奨励事業、学校給食センター改築事業が主な事業となっております。令和 2 年度は、79 億 2,000 万円と延びておりますが、研修牧場施設整備事業が主な要因となっております。また、令和 3 年度は、大規模事業が予定されていないため、事業費が減少している状況でございます。5 ページの右側には、基本目標別の推移を示す折れ線グラフを掲載しております。第 1 章は、都市基盤整備の分野であり、令和元年度が多くなっておりますが、これは汚水処理施設共同整備事業や町営住宅建替事業によるものでございます。

第 2 章は、産業振興の分野であり、令和 2 年度が突出しておりますが、先ほど申し上げましたとおり、研修牧場施設整備事業によるものでございます。

第 3 章は、医療・福祉の分野で、熊石国保病院改築事業によって、令和 4 年度が上昇をしております。

第 4 章は、教育の分野で、令和元年度、令和 2 年度が大きくなってございますが、学校給食センター改築事業、落部小学校大規模改修事業によるものでございます。

第 5 章は、協働と行財政の分野となっております。平成 30 年度が突出しておりますが、これはふるさと応援寄附金奨励事業によるもので、法改正によりまして、令和元年度以降は減少傾向にあります。

続きまして、6 ページと 7 ページにつきましては、実施期間を変更したものの、計画から削除したものなどの掲載をしております。

また、8 ページ、9 ページにつきましては、昨年度策定した実施計画には搭載していなかった、新たな事業を掲載しております。大きな事業といたしましては、8 ページ上段に記載の熊石総合センター大規模改修事業、9 ページ下段の高度無線環境整備推進事業などとなっております。10 ページから 23 ページにつきましては、各事業の詳細を掲載をしておりますので、後ほどご覧いただきたいと思います。

最後の 24 ページにつきましては、令和 3 年度の大きな事業を掲載しております。こちらも後ほどご覧いただきたいと思いますが、24 ページ左下に記載の 22 番、研修牧場施設整備

事業の資料内容に誤りがありまして、実施設計、牧場建設、出資金と記載してございますが、外構舗装工事に訂正をお願いしたいと思います。

以上、簡単ではございますが、総合計画実施計画の説明とさせていただきます。よろしくお願いたします。

○議長（能登谷正人君） 説明が終わりました。この件についても事前に配付されておりますので、皆さんよく勉強してきたと思いますので、なにかこの場で聞きたいことがありましたらお願いいたします。

○3番（佐藤智子君） 議長、佐藤。

○議長（能登谷正人君） 佐藤さん。

○3番（佐藤智子君） 全体を通してですね、防災無線、防災漁船無線の戸別受信機事業というのが一個も載っていないんですけれども、総務課長にお伺いしまして、国からの防災交付金というのが令和7年まで延びたから、この実施計画以降にやるというお考えみたいなんですけれども、それでも町政執行方針には去年も検討でしたけど、今年も引き続き検討というふうになっていますから、令和3年度中に検討されるんでしょうけれども、以前からあるものが、この総合計画の実施計画の中に入らないのは何故なのでしょう。

○政策推進課長（竹内友身君） 議長、政策推進課長。

○議長（能登谷正人君） 政策推進課長、

○政策推進課長（竹内友身君） 先ほど、おっしゃいましたとおり、計画3から5なものですから総務課のほうで、令和7年度以降という考えであればこれには載ってこないということです、その辺はちょっと載らないというのはご理解いただきたいと思います。これは3年間の計画を載せているものですから。

○3番（佐藤智子君） 議長、佐藤。

○議長（能登谷正人君） 佐藤さん。

○3番（佐藤智子君） そういうのは理解できますけれども、早期にという要望もありますし、執行方針の中には去年も今年も検討するということですので、これからという3年間に全然載っていないというのは矛盾があると思うんですよね。だからそちらの事情もあるとは思いますが、じっくりね、検討して、より良いものということで載っていないと思うんですけれども、先ほど千葉さんが言われたような、調査項目の中に入っていない、ちょっと違うのか知らないですけど、継続してやっていくものであれば、実施計画の中に載っていて然るべきだと思うんですけどもね。私の意見はそういうことです。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 佐藤議員ですね、この戸別受信機というのはやるということで決定をして議会でも話しを進めています。さらにこの何回か質問の中で今までも答弁したとおりですね、今、庁舎を移転するときは、ここに受信機や発信機を付けると莫大なお金がかかると。また、移転するときにはお金がかかるということでもありますので、庁舎のほうの検討をしていると、これに付随していると。ただ、この庁舎のほうもですね、本当に先ほどからコロナの影響で機構さんと話し合いを先ほど12月2月ってこれも延びてきてまだされていないと。また、養護学校の、道のほうもですね、なかなか突っ込んできたり行った

りというのはちょっと難しいので、まだその辺が見えていないので、先ほど言ったとおり3年間でありますので、佐藤議員ですね、計画に載るといいうのも大事けども、これはやるということで議員の皆さんと意思統一していますので、ただ、3年間で表れていないですけども、やることには間違いありませんのでご理解をいただきたいと思います。

○議長（能登谷正人君） 了解ですか。

○3番（佐藤智子君） はい。

○総務課長（三澤 聡君） 議長、総務課長。

○議長（能登谷正人君） 総務課長。

○総務課長（三澤 聡君） 今、申し上げたとおりでございますけども、今回ですね、今までは検討ということで、いろんな他町村のシステムを見ながらですね、メリット・デメリット、デメリットというのは実際に使ってみないと出てこないという部分が出てきますので、そういうデメリットを他町村の話も聞きながら検討しているところでございます。さらに最近ですと、七飯町さんとか知内町さんとかは、新しいシステムを導入するという動きもありますので、そういうところの話を聞きながら研究していきたいというふうに思います。

それでさらに先ほど申し上げましたけども、緊急防災減災事業債という国の支援が、今まで令和2年で終わっていますけども、5年間延びて令和7年度まで延長したと。これを利用するとなると町の負担が3割で済むということになりますので、この事業は7年まで延長されましたので、これを利用できるシステム、できないシステムというのが現にありますけども、そういったことも検討しながら、何が一番いいのかということ協議していきたいというふうに思っています。現システム、今のシステムを使うとなると、先ほど町長から申し上げましたとおり移転費というのがかかってきますので、その現システムを使ったこれで受信機を整備していくのか、それとも違うシステムを入れるのかということもですね、整備費の関係もありますので、比較・検討しながら令和3年度に検討したいというふうに思っておりますので、ご理解のほどお願いいたします。

○議長（能登谷正人君） 了解しましたよ。

ほかにないですね。それでは、これをもって第2回の全員協議会を終わらせてもらいます。ご苦勞様でした。

[閉会 午前11時27分]